

放水立坑（上流水槽）上流海水配管水の分析結果

| | | |
|----|------|---------------------------------|
| 要約 | 分析値 | 277～343 (Bq/L) (1,500Bq/L未満の確認) |
| | 計算比較 | 計算値 (211～842Bq/L) と同程度を確認 ※2 |

放射能分析 トリチウム

| 核種 | 採取日時 | 分析結果 | | |
|-----|------------------|------------|----------------|--------------|
| | | 分析値 (Bq/L) | 不確かさ ※1 (Bq/L) | 検出限界値 (Bq/L) |
| H-3 | 2024/10/01 07:16 | 3.1E+02 | ± 3.3E+01 | 5.9E+00 |

・〇.〇E±〇とは、 $〇.〇 \times 10^{\pm 〇}$ であることを意味する。

(例) 3.1E+01は 3.1×10^1 で31, 3.1E+00は 3.1×10^0 で3.1, 3.1E-01は 3.1×10^{-1} で0.31と読む。

※1 「不確かさ」とは分析データの精度を意味している。

「不確かさ」は「拡張不確かさ：包含係数k=2」を用いて算出している。

※2 「計算値」とは、測定・確認用設備で分析したトリチウム濃度とALPS処理水、海水の流量比から計算で求めた値。

「計算値」は当社ホームページに掲載している「希釈後トリチウム濃度」を指し、潮位などにより、わずかに変動するが一日をとおして変化するものではないため、原則、試料採取日の7時の値を用いて計算比較する。

https://www.tepco.co.jp/nu/fukushima-np/f1-rt/html-j/f1-alps_fd-month-sel-j.html

分析値は、混合希釈の不確かさ（ $1/2 \times$ 計算値～ $2 \times$ 計算値）を考慮した計算値と比較する。